

# 小学部

## 1 学部目標

- (1) 生活に必要な習慣を養い、一人一人に合った学習の定着を図る。
- (2) 健康で安全な生活ができるよう、体力の向上を図る。
- (3) 楽しく集団生活に参加し、自己表現をする意識を高める。
- (4) 交流及び共同学習など様々な経験を通し、興味や関心を広げる。

## 2 経営の重点

- (1) 的確な実態把握に基づき、日常生活動作の習得と基本的生活習慣の確立を目指して個々に応じたきめ細やかな指導・支援を段階的・継続的に行う。
- (2) 学習グループの編成及び教材・教具や指導方法を工夫することにより、学習効果を高める。
- (3) 毎日、体を動かす習慣を身に付けていく過程で、情緒の安定と健全な心身の発達を促し、健康の保持増進と体力の向上につなげるよう指導・支援をする。
- (4) 体験的な活動を通して防災や安全について知ることができるよう指導・支援をする。
- (5) 学部集会（なかよし集会）で互いに関わったり、係の仕事や発表の体験をしたりすることにより、集団の一員であることを意識できるようにする。
- (6) 校外学習や宿泊学習などの体験学習を通して、生活体験を拡充させるとともに、仲間意識や互いに助け合う気持ちを育てる。
- (7) 地域の学校との交流や交流籍を活用した交流及び共同学習を通して、社会経験を拡大する。

## 3 教育課程

### (1) 学習指導上のグループ編成

- ① 学級・学年別（習熟度別）の学習  
日常生活の指導、生活単元学習、遊びの指導（1～3年）、特別活動  
体育、国語、算数、図画工作、自立活動、特別の教科道徳
- ② 学部全体での学習  
生活単元学習、特別活動（なかよし集会）、特別の教科道徳
- ③ 複数学年での学習  
生活単元学習、音楽、体育、遊びの指導（1～3年）、自立活動、特別の教科道徳
- ④ 4～6年と中学部合同の学習  
特別活動（児童生徒会活動）、特別の教科道徳

### (2) 学習指導の形態とねらい

#### ① 各教科等を合わせた指導

##### ア 遊びの指導

遊びを学習活動の中心に据えて、身体活動を活発にする中で、他者との関わりを促し、意欲的、自発的な活動を引き出すことができるように指導・支援をする。

##### イ 日常生活の指導

児童の日常生活が充実するよう、基本的な生活習慣の定着、集団生活の基礎、人との関わりを素地を作ることができるように指導・支援をする。

##### ウ 生活単元学習

児童が生活上の目標を達成し、課題を解決するために、集団を変えながら継続的に経験することによって、自立的な生活に必要な事柄を実際の・総合的に学習する。

## ② 教科別、領域別の指導

### ア 教科

#### (ア) 国語

線なぞり、ことばの練習、文字の読み書き・判別、作文、身近な物の弁別などを通して、日常生活に必要な知識や技能を習得し、伝え合う力や態度を育てる。

#### (イ) 算数

色・形の弁別、型はめ、図形、数字と数量、足し算、引き算、金銭の計算、時計の見方などを通して、基礎的知識や技能を習得し、日常生活で活用する力や態度を育てる。

#### (ウ) 音楽

手遊び、リズム遊び、歌、合奏などを通して、音楽について興味・関心をもち、その楽しさを味わい、表現できるように指導・支援をする。

#### (エ) 図画工作

絵画や工作などを通して造形活動に興味・関心をもち、その楽しさや作り出す喜びを味わい、表現できるように指導・支援をする。

#### (オ) 体育

様々な運動の経験を通して、基本的な動きを身につけ、健康の保持増進と体力の向上を図るとともに、決まりを守り、安全に留意して運動する態度を育てる。

### イ 特別の教科道徳

学校の教育活動のあらゆる場面を通して、人との関わり方やみんなが使うものを大切にし、約束や決まりを守る、苦手なことでも頑張るなど集団生活に必要な望ましい態度を育てる。

### ウ 特別活動

全校朝会、学部集会（なかよし集会）、児童会活動、行事、学級活動などを通して経験を広め、社会性が身に付くように指導・支援をする。

### エ 自立活動

自立をめざし、障がいに基づく困難を改善・克服するために児童個々の障がいの状態や発達段階に応じて、学習活動全体の中で配慮しながら指導・支援をする。

重複障がい学級においては時間を設けて指導する。